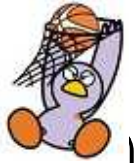


平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Cコート 第3試合 深谷市民体育館

チームA	59	20 - 28 10 - 31 13 - 42 16 - 25	126	チームB
県立鳥取工業 鳥取				延岡学園 宮崎

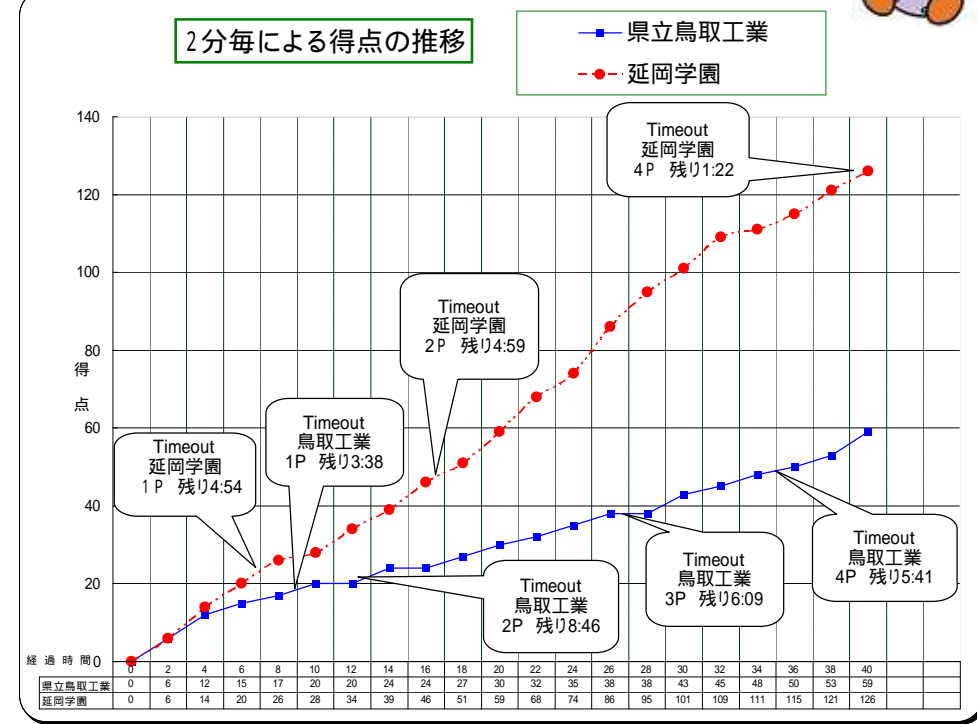
県立鳥取工業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	中村 祥人	X	2	0	5	1	3	0	0	3	0	2	4	1	4	0	37
5	井上 剛	X	13	3	5	2	8	0	2	1	3	3	4	1	0	0	37
6	小谷 悠平	X	21	4	11	4	14	1	3	1	4	2	1	2	0	0	35
7	品川 卓也	X	6	0	6	2	3	2	2	1	0	0	2	0	2	0	34
8	谷浦 聡也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	福田 将士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	井上 友樹	X	16	2	8	3	8	4	6	4	8	3	5	0	3	1	36
11	縫 和貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	岸本 悟史	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
13	安藤 諒	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
14	河村 祐介	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	8
15	坂本 直貴	/	1	0	0	0	3	1	2	2	0	0	1	0	0	0	6
コーチ	遠藤 健司	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	4	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場	59	9	35	12	39	8	15	12	16	15	18	5	9	1	200		
確率	25.7%	30.8%	53.3%	計	31												

延岡学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	内村 祥也	X	11	0	3	5	5	1	1	1	1	1	0	1	5	0	18
5	シダット ジャーラ	X	27	0	0	13	14	1	2	0	2	4	0	0	2	0	15
6	和田 力也	X	11	1	3	4	4	0	0	1	0	4	1	3	4	0	23
7	永吉 佑也	X	10	0	0	5	7	0	0	1	0	7	1	0	0	3	23
8	川元 崇史	X	14	4	8	1	2	0	0	0	0	3	0	1	0	0	22
9	横瀬 孝樹	/	5	1	2	1	2	0	0	2	0	0	0	1	3	1	13
10	曾根田 夏樹	/	4	0	2	2	3	0	0	0	0	2	2	1	3	0	12
11	湯地 寛文	/	9	1	2	3	4	0	0	1	4	0	2	1	1	0	17
12	大坪 将太	/	8	0	0	4	6	0	0	3	1	2	0	1	1	0	12
13	長谷場 祐二	/	7	1	1	2	4	0	0	1	0	2	1	1	3	0	17
14	中村 友哉	/	2	0	0	1	2	0	0	2	0	1	0	0	1	0	5
15	エリマン ビイ	/	18	0	0	8	12	2	2	2	4	8	0	0	0	4	23
コーチ	北郷 純一郎	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	6	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場	126	8	21	49	65	4	5	14	14	40	7	10	23	8	200		
確率	38.1%	75.4%	80.0%	計	54												

2分毎による得点の推移



戦評
 今大会千葉インターハイ以来2度目の優勝を目指す延岡学園、攻撃の核となるのはツインタワーとガード陣とのコンビネーション。一方3Pも打てるセンターが攻撃の要でランアンドガンスタイルの鳥取工業との対戦である。
 第1P 共にハーフコートマンツーマンで開始、ミスマッチを利用し#5ジャーラにボールを集めゴール下で加点する延岡学園に対し、鳥取工業は速いボール運びから外角のシュートで対抗し、一進一退の攻防が続く28対20延岡学園リードで終了。
 第2P 鳥取工業はディフェンスをインサイドヘルプをするが延岡学園の#6和田の3Pで点差を開かれ、残り8分30秒のところから3-2ゾーンに変える。その後1-2-2ゾーンプレスゾーンで対抗するが制空権を完全に握られ最大4分間ノーゴールで59対30で延岡学園のリードのまま後半へ。
 第3P 延岡学園は確実なポストプレイとディフェンスリバウンドからの攻撃を確実に得点に結びつけて、鳥取工業を引き離す。鳥取工業は、攻め手を欠き、単発のジャンプシュートに終わり101対43延岡学園がリードを広げ最終ピリオドへ。
 第4P 延岡学園はベンチメンバーで3-2ゾーンディフェンスで鳥取工業は、ハーフコートマンツーマンでスタート。延岡学園はリバウンドから速攻に継ぎ加点、追撃したい鳥取工業はオールコートマンツーマンにして、最後までがんばったが、126対59で延岡学園が勝利した。

主審	前田 喜庸	副審	山崎 雅洋	戦評	小藤 保男 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット